

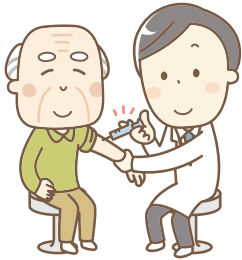
令和2年度は無料になります

高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ

ID 1003842 問 健康課(☎581-4111)

期間 10月1日(木)～令和3年1月31日(日)
※10月1日(木)～11日(日)は下記委託医療機関でのみ接種可。
10月12日(月)以降は下記委託医療機関のほか八王子市、町田市、多摩市、稲城市の契約医療機関でも接種可
会場 下記の通り
接種回数 1回
対象 接種日当日に次のいずれかに該当する日野市に住民登録のある方
① 65歳以上
② 60歳以上65歳未満で、特定疾病(※)を有する方(身体障害者手帳1級の提示または診断書の提出が必要)
(※)心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の辺の日常生活

活動が極度に制限される程度の障害およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害
自己負担 無し(令和2年度は無料)
持ち物 健康保険証※対象②の方は健康保険証と障害者手帳または診断書、生活保護受給者および中国残留邦人などで支援給付を受けている方は受給証明書
注意 原則として本人の意思が確認できない場合は定期予防接種不可
その他 予約が必要な場合あり。
医療機関に事前に問い合わせを



医師会委託医療機関

地域	医療機関名	電話番号	地域	医療機関名	電話番号
新井	青和クリニック	594-1900	日野台	くちらクリニック	583-6515
石田	にしくぼクリニック	589-3532		日野台診療所	581-6175
落川	寺田医院	591-2852		アカシアクリニック	587-8616
新町	高瀬内科クリニック	582-7228	日野本町	高品クリニック	583-7822
	たかなしクリニック	585-2347		花輪病院	582-0061
	よこやま耳鼻咽喉科	589-3663		日野医院	581-0309
神明	おおしろクリニック	589-6780		日野のぞみクリニック	843-1445
	山本クリニック	584-5633	平山	牛尾医院	591-2001
高幡	朝比奈クリニック	506-5117	程久保	京王平山クリニック	592-5111
	井上クリニック	593-8988		原クリニック	591-6613
	鈴木内科クリニック	599-7021	万願寺	中井内科クリニック	583-7675
	高幡駅前川崎クリニック	599-0036		ニシムラ整形外科	587-2220
	森久保クリニック	594-6778		土方クリニック	587-7171
	石塚医院	584-4111	三沢	もぐさ園三沢台診療所	592-0466
多摩平	小松医院	581-0474	南平	さいとう内科クリニック	591-0100
	佐々木クリニック多摩平	585-2591		柴山内科医院	594-3688
	関根クリニック	843-2383		中川クリニック	594-0313
	太陽クリニック	843-1686		福岡医院	591-3600
	多摩平小児科	584-6002	宮	グレイス病院	584-5119
	原脳神経外科クリニック	514-8550	百草	松田整形外科医院	593-8175
	日野市立病院	581-2677		百草園駅前クリニック	599-3266
	望月医院	581-0504		百草の森ふれあいクリニック	599-7068
	胃腸内科・下肢静脈瘤 森末クリニック	589-3030			
	渡辺整形外科	581-7111			
豊田	あんどう耳鼻咽喉科	585-8787	個別委託医療機関		
	いしかわ内科医院	589-2244			
	康明会病院	584-5251	地域	医療機関名	電話番号
	小林医院	581-0433	栄町	栄町クリニック	583-7392
東平山	野田医院	581-0435	西平山	桜医院	514-8790
	佐々木クリニック豊田	585-8063	南平	南平わだクリニック	599-2977
日野	石田クリニック	843-2608	※八王子市、町田市、多摩市、稲城市の契約医療機関については問い合わせを		
	康明会ホームケアクリニック	589-0009			
	塩谷医院	581-0158			

【訂正】 9月15日号5面に掲載した『「新しい生活様式」に沿った高齢者への見守り支援』の活動内容に誤りがありました。『「ひの健幸貯筋体操」のDVDと体操に使用する重りを地域の高齢者に配布する』とありますが、正しくは『「ひの健幸貯筋体操」のDVDのレンタルもしくは販売や、体操に使用する重りの販売』です。訂正してお詫びします。

養育家庭インタビュー

この出会いに感謝。
自分も何か与える人になりたい

ID 1015255 問 子ども家庭支援センター(☎599-6670)

養育家庭とは

養子縁組を目的とせずに、いろいろな事情により家庭で暮らすことができない子どもを、一定期間養育する家庭のことです。東京都では「ほっとファミリー」とも呼んでいます。

東京都に合わせて、市では、10・11月を養育家庭推進月間と位置付けています。

本インタビューについて

市民の皆さまに養育家庭について知っていただくため、今回、養育家庭の小倉さん宅(八王子市)にて、元里子の鯨井さんをお迎えしてインタビューを行いました。

養育家庭に興味のある方へ

養育家庭についてのご相談や問い合わせは、管轄の八王子児童相談所(☎042-624-1141)へお願いします。



●プロフィール●

里子 鯨井俊介さん…小倉家で中学・高校の6年間を過ごす。現在は芸能活動を行っており、ダンス&ボーカルグループ「BREAK THROU GH(ブレイクスルー)」のリーダーを務める。

里親 小倉艶子さん…里親として、さまざまな事情の子どもを約17年間に20人ほど受け入れてきた。鯨井さんが里子第一号。鯨井さんより年上の実子が5人いる。



●養育家庭での生活で、うれしかったことは何ですか

鯨井さん 一人っ子だったので、いきなりお兄ちゃんが入ってきたわけですね。寂しくなかったですね。あとは、まず「朝ご飯を食べる」ことから始まるんですが、小学校の時は最初、学校も行っていなかったの、「普通の家庭」ってこういうものなんだと、徐々に慣れていく感じ。なんだか楽しくなってきた、これが生活なんだなと自分で気付いた時はうれしくて、客観的に成長した気持ちになりました。

小倉さん この子との生活では、まず朝起きるという習慣付けができたことです。それから新聞配達を私と一緒に続けたことです。何か一つ、2人の時間を持てたのも良かったのかな。今思えば楽しかったですね。

●頑張ったと思うことは何ですか

鯨井さん 学校にちゃんと通ったことですね。あとは、18歳でこの家から出ていかなければならないことは制度として理解してましたから、結局一人暮らしをしながらいけないのでどうしようかと考えていた時に、少しずつたまっていった新聞配達のお金を渡してくれたんです。

小倉さん 頑張ってたって新聞配達をしてたことを形にしてやりたいと思って、ためていたんですが、やっていた間は特にお金をくれとも言わなかったんですよ。信頼してくれているのが分かってうれしかったですね。例えば、高校生時代は自分で使うお金を稼ぐために、よくアルバイトをしていましたね。今振り返ると、お前は良くやったね、すれもせず。

●最後に、鯨井さんから小倉さんに一言お願いします

鯨井さん 特別なことは要求されていないですし、自由にやっていいよという感じでした。自分の人格形成に付き合ってもらったなと思っていますし、小倉家で良かったなと思います。自分にとっては母であって、6番目の息子だと思わせてもらったんです。この出会いが無かったら、本当に一人だったと思うので。一緒に居てくれてありがとう、という気持ちです。与えてもらった分、自分も何か与える人になりたいなと思って、明るい仕事ができるようにしています。小倉イズムだと思っただけですけど、好きなことで飯を食べていけたらそれでいいよって。

小倉さん 出会って、計画しているわけではないですよ。これで良かったんだな、と思っています。肩に力を入れずにしてきたことがね。

※誌面の都合上、インタビューの一部を掲載していますが、市HPでは、本インタビューの全文を閲覧できます

告知

毎年実施していた養育家庭体験発表会に代わり、里親関連展示物の展示を実施します。

日時 10月22日(木)午前10時30分～午後3時30分

会場 市役所5階505会議室

内容 里子さんたちの作品展示、個別相談会、ショートムービーの上映、養育家庭に関するパネル展示